

第3次多治見市教育基本計画【概要】

(案)

次期基本計画(概要)

1.めざす子ども像

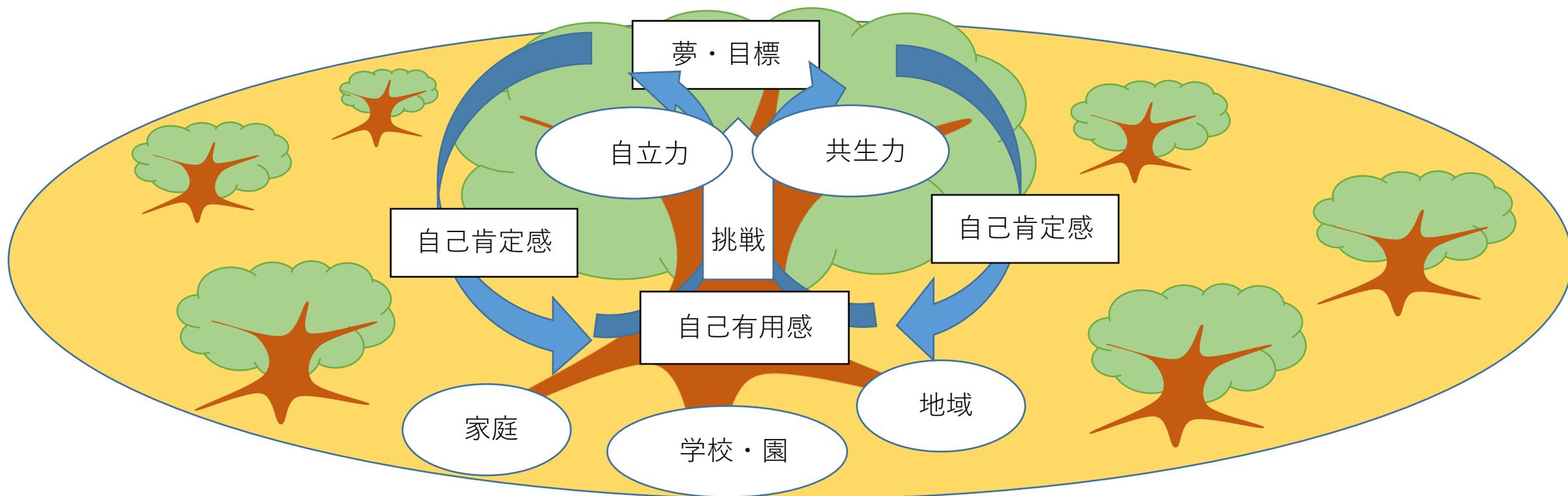
お互いを尊重し、主体的に学び、挑戦する多治見の子

変化が激しく予測が困難といわれるこれからの社会をたくましく生き抜いていくために、主体的に考え、多様な他者と協働し、自分の夢や目標に向かって、失敗を恐れず挑戦する多治見の子をめざします。

2.子ども像実現のために

家庭、学校・園、地域での関りを通して認識した自分の良さや可能性(自己有用感)をもとに、夢や目標に向かって努力(挑戦)し続けることで、主体的に考える力(自立力)、多様な他者と協働する力(共生力)を育て、小さくても確かな自信(自己肯定感)につなげます。

このような夢や目標に向かって挑戦を繰り返すことができる教育環境をインクルーシブの観点を踏まえて整えることで、子ども像の実現をめざします。

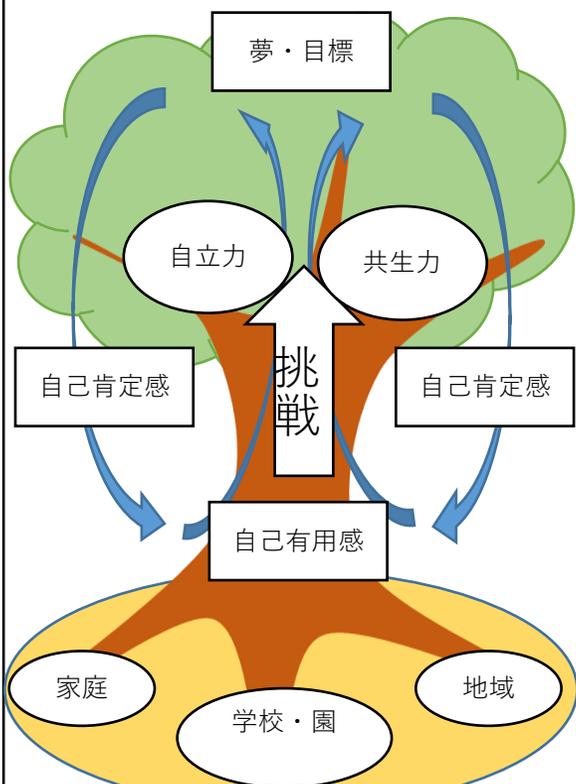


3.計画の体系

めざす子ども像

お互いを尊重し、主体的に学び、挑戦する多治見の子

子ども像実現のために



基本施策

施策1

体力・学力を高める教育・保育の推進

施策2

社会性と豊かな心を育む教育の推進

施策3

家庭、学校・園、地域の連携の推進

施策4

多様な課題に応じた支援の推進

施策5

学びを支える教育環境の充実

○施策及び施策に対する事業一覧

事業	事業内容
施策1 体力・学力を高める教育・保育の推進	<ol style="list-style-type: none">1 運動の楽しさを感じる取組の充実2 主体的・対話的で深い学びの実現3 情報活用能力の育成4 食育による健やかな心身の育成
施策2 社会性と豊かな心を育む教育の推進	<ol style="list-style-type: none">1 心の教育の充実2 キャリア教育の推進3 読書活動の充実4 郷土愛を醸成する教育の推進
施策3 家庭、学校・園、地域の連携の推進	<ol style="list-style-type: none">1 親育ち支援事業の充実2 青少年健全育成事業の推進3 学校運営協議会の活性化4 各種団体と連携したジュニアクラブの推進
施策4 多様な課題に応じた支援の推進	<ol style="list-style-type: none">1 いじめ・不登校の未然防止と対応2 特別支援教育における支援体制の充実3 個々の教育的ニーズに応じた支援4 学童保育(たじっこクラブ)の充実
施策5 学びを支える教育環境の充実	<ol style="list-style-type: none">1 教職員の働き方改革の推進2 幼保小中一貫教育の推進3 計画的な教育施設や設備の充実4 安全な教育環境の維持

体力・学力を高める教育・保育の推進

事業	具体的な事業
1 運動の楽しさを感じる取組の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・運動の楽しさを味わう機会の提供(ACP※1、たじっこCityCup(仮称)※2) ・幼稚園・保育園での「いきいき運動遊び」の充実 ・豊かなスポーツライフの実現に向けた保健・体育の授業の充実
2 主体的・対話的で深い学びの実現	<ul style="list-style-type: none"> ・集中力や自信を高める幼稚園・保育園の「いきいき遊び」の実施 ・学ぶ意義や喜びを味わう授業の充実 ・学力調査を活用した指導改善を図る学力向上推進研修会の開催
3 情報活用能力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・生きる力を育むデジタルシチズンシップ※3教育の実施 ・ICT教育推進員による児童生徒及び教職員への支援の実施 ・「学校情報化認定※4」基準に沿った情報化の推進 ・「ICT活用ガイドブックfor Teachers」の活用
4 食育による健やかな心身の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・安心・安全で魅力あるおいしい学校給食の安定した提供 ・望ましい食習慣を身に付けるための学校・園での食に関する指導の充実 ・地域への感謝の気持ちを育むための市内産農産物の活用 ・家庭への食に関する啓発

※1 ACP(アクティブ・チャイルド・プログラム)・・・子どもたちが楽しみながら積極的に体を動かすプログラム

※2 たじっこCityCup(仮称)・・・多治見市内の小・中学生を対象に、多様な種目の記録をネットで登録して競い合う取組

※3 デジタルシチズンシップ・・・情報技術の利用における適切で責任ある行動規範

※4 学校情報化認定・・・日本教育工学協会が総合的に学校の情報化を進めたと認定すること

社会性と豊かな心を育む教育の推進

事業	具体的な事業
ア 心の教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・「考え、議論する道徳」の実施 ・子どもの権利を含む人権教育研修の実施 ・いじめや差別偏見のない正しい人権感覚の育成 ・地域、幼稚園・保育園、学校間で連携した豊かな体験活動の推進
イ キャリア教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の良さや可能性を発揮する学級経営の充実 ・自身の成長を振り返る記録「キャリアパスポート※1」の活用 ・企業や各種団体と連携した職業講話、職場体験の実施
ウ 読書活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・読書を楽しみ読書から学ぶ機会の充実（読み聞かせ・ビブリオバトル※2・電子書籍等） ・学校図書館機能の充実 ・子どもの読書活動の評価改善を図る「子どもの読書活動推進委員会」の開催
エ 郷土愛を醸成する教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・土曜講座「わがまち 多治見大好き講座」の実施 ・地域の文化財を活用した学びの機会の充実 ・地域について学ぶ社会科副読本の改訂及び活用 ・将来のリーダー養成を目指す連合生徒会の開催

※1 キャリアパスポート・・・児童生徒が、小学校から高等学校までのキャリア教育に関わる諸活動について、特別活動の学級活動等を中心として、自らの活動状況やキャリア形成を見通し、振り返りながら、自身の変容や成長を自己評価した記録を綴ったファイル。

※2 ビブリオバトル・・・お薦めしたい本の魅力を語る書評合戦

家庭、学校・園、地域の連携の推進

事業	具体的な事業
ア 親育ち支援事業の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て中の保護者を支援する、親育ち4・3・6・3たじみプラン※の推進 ・次世代育成フロアの特性と親子ひろばを活用した子育て支援事業の推進
イ 青少年健全育成事業の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年まちづくり市民会議が行う催しへの参画及び参加を推進 ・各校区の青少年まちづくり市民会議の情報交流を推進
ウ 学校運営協議会の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・全小中学校に学校運営協議会を設置し、家庭、学校、地域の連携を推進 ・学校運営協議会を活用し、保護者や地域住民の学校運営参画を推進
エ 各種団体と連携したジュニアクラブの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校の部活動・ジュニアクラブ活動の推進 ・各種団体等の連携によるスポーツ及び文化活動の機会の拡充

※ 親育ち4・3・6・3たじみプラン・・・妊娠中から3歳までの4年間、子どもが3歳から6歳までの3年間、小学生の6年間、中学生の3年間において、親が育ち、親子の良好な関係を築くプラン

多様な課題に応じた支援の推進

事業	具体的な事業
ア いじめ・不登校の未然防止と対応	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめのアンケート、ハイパーQU※による調査の実施 ・小学校中学年への教育支援員の配置 ・校内教育支援室の充実 ・さわらび学級の機能拡充
イ 特別支援教育における支援体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザインの授業づくりの推進 ・特別支援コーディネーターの専門性の向上 ・乳幼児期から学齢期にかけて切れ目のない支援 ・看護師の確保・配置による医療的ケア児への支援 ・発達相談支援体制の充実
ウ 個々の教育的ニーズに応じた支援	<ul style="list-style-type: none"> ・経済的な支援を必要とする児童生徒への支援 ・日本語指導の必要な児童生徒への個々の状況に応じた支援
エ 学童保育(たじっこクラブ)の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・施設面と運用面における受入体制の充実 ・支援員の質の向上をめざしたクラブ間の研修や交流の開催 ・第三者委員会による毎年の適切な事業評価

※ハイパーQU・・・いじめの発見と予防、学校崩壊の予防等を講じるため、楽しい学校生活を送るためのアンケート

学びを支える教育環境の充実

事業	具体的な事業
ア 教職員の働き方改革の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員のゆとりある学校生活の推進 ・教職員の心身の健康維持促進 ・サポートスタッフ及び地域人材の活用 ・ICTを活用した業務の効率化の促進
イ 幼保小中一貫教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・学びの連続性や系統性を重視した多治見市型小中一貫教育の推進 ・幼保小の架け橋プログラムに沿った幼保小の連携強化
ウ 計画的な教育施設や設備の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・(仮称)笠原小中学校の建設 ・老朽化を踏まえた教育施設の整備計画の検討 ・タブレット端末の更新(3か年計画)
エ 安全な教育環境の維持	<ul style="list-style-type: none"> ・学校施設整備計画に基づく長寿命化、個別保全計画による施設整備の推進